

— 第 1 部 —

水産業の動向

平成20年9月

宮城県

第1部 水産業の動向

1	水産業を巡る概況	1
	(1) 原油価格高騰に伴う漁業用燃油価格の高騰	
	(2) 海洋基本計画の策定	
	(3) 食品に対する安全性要求の一層の高まり	
	(4) 沿岸漁業協同組合の合併による宮城県漁業協同組合の発足	
	(5) 農林水産部の復活	
	(6) 第7回全国カキサミット宮城大会の開催	
	(7) 風評被害によるカキの消費低迷と販売促進への取組	
	(8) 水産加工業振興プロジェクトスタート	
	(9) マコガレイ・マアナゴの資源回復計画の策定	
	(10) みやぎ発展税の導入	
	(11) 貨物船「JANE号」座礁事故	
	—コラム—	8
	●第7回全国カキ・サミット宮城大会の開催	
	●「全国・鯨フォーラム2007」	
	●「みやぎ発展税(通称)」の導入	
	●「仙台・宮城デスティネーションキャンペーン」の開催について	
	●水産物の輸出入	
	●我が国の水産物食料需給の動向	
	●漁業取締船「うみわし」「うみたか」の年間MVP大賞受賞について	
2	水産業の現状	17
	(1) 本県水産業の特徴	
	イ 漁業・養殖業	
	(イ) 水揚げされる魚種の多様性	
	(ロ) 主な水産物の全国順位	
	ロ 水産加工業	
	(イ) 主な水産加工品と全国順位	

(2) 漁業の概況 22

イ 本県漁業の基本構造

- (イ) 漁業経営体数
- (ロ) 漁業就業者数
- (ハ) 漁船隻数

ロ 漁業・養殖業生産

- (イ) 海面漁業・海面養殖業の生産量
- (ロ) 海面漁業・海面養殖業の生産額
- (ハ) 主な漁業種類の生産動向
 - a. 遠洋漁業
 - b. 沖合漁業
 - c. 沿岸漁業
 - d. 海面養殖業
- (ニ) 主要魚種別生産
- (ホ) 内水面漁業

—コラム— 38

- 漁業者団体等の活躍 一日ごろの活動が全国表彰される—
- 新規就業者の支援
- マコガレイ保護区周辺でマダラ産卵を確認
- 資源管理の取組（ミズダコ漁獲体重規制）
- ホヤの被囊軟化症蔓延防止対策

(3) 水産物の流通・加工の概況 43

イ 水産加工生産

ロ 産地魚市場の水揚げ状況

—コラム— 47

- 産地魚市場を中心とした水産物産地流通拠点の整備
- 中小企業地域資源活用プログラム

(4)	漁業経営の概況	49
	イ 漁業経営体の経営収支	
	(イ) 遠洋・沖合漁業	
	(ロ) 沿岸漁業・海面養殖業	
	(ハ) 漁業共済制度	
	(ニ) 漁船保険制度	
	ロ 水産業協同組合の現況	
	(イ) 水産業協同組合の運営状況	
	ーコラムー	57
	●一県一漁協の発足について	
(5)	漁業生産基盤の整備	58
	イ 漁港漁場等の整備	
	(イ) 漁港の整備	
	(ロ) 漁場の整備	
	ロ 漁業生産施設等の整備	
	ーコラムー	63
	●漁港漁場整備長期計画について	
	●山元町磯浜の座礁船撤去作業について	
	●磯焼け漁場再生への取組	